

平成29年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 各地区会場

## 「西北地区研修」

平成29年9月4日(月) 会場名:中泊町総合文化センター パルナス 受講者数 21名

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 各地区会場「西北地区研修」が、9月4日(月)中泊町総合文化センター パルナスにおいて実施されました。

この地区研修は、県内6地区の地域課題の把握に努め、各地区のネットワーク形成及び課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を実施することを趣旨としています。

西北地区では、「西北五つがる社会教育担当者協議会研修会」として実施しており、今年度は中泊町教育委員会が事務局を担当しました。

研修テーマは「人口減少問題解決のための方策を探る」とし、「まちづくり～人口減少にどうアプローチするか」の演題で、弘前大学大学院 地域社会研究科 准教授 平井 太郎 氏に講師をお願いし、講義と演習をしていただきました。

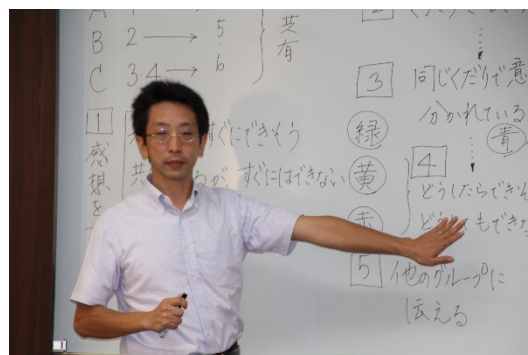
切実な人口減少に対しての向き合い方を学ぶ大変有意義な研修の機会になりました。



### 1. 講義:「人口減少問題解決のための方策を探る」

「公民館活動が、地方創生とどう結びついているか」を念頭におき、テーマと関連付けながら講義が進みました。『公民館を地方創生の舞台に』の演習の前に、対談記事の小見出しをピックアップして、まずは、その解釈から始まりました。

- (1)フラットな人間関係をつくる場である公民館
- (2)当事者意識で育てる
- (3)公民館を“やる” \*公民館が「ある」ではない
- (4)小さな困り事から、自分達で解決していく
- (5)楽しさや達成感が次のステップにつながる
- (6)小銭を稼ぐ ⇒ 地域づくりと公民館が結び付きづらい部分
- (7)長いスパンで考える



人口減少は今突然始まったことではなく、世の中の的には2013年頃に「地方消滅」という言葉で人口減少問題を捉えていたそうで、このまま何もしなければなくなってしまうという中で、反論する形で「地方創生」という言葉が使われ、国の政策に取り入れられることになったといえます。

地方創生の基本的な考え方は「人口減少克服」で、“仕事人が人を呼ぶ・人が集まれば仕事が生まれる”という「仕事づくり」による好循環を創り出さなければ「まち・ひと・しごと創生」は進まないということから、地域運営組織と公民館の関係へと話は発展していきました。

地域運営組織に「期待されること」や「運営の仕方」から、公民館との関わりや連携方法について具体例をあげながらお話されました。「協議と実行」、「まとめる

「地域運営組織」とは、地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織のことです。

より組み合わせる」という発想について、『小さな困り事から始める』という、“脱・貧困のロジスティック曲線”と呼ばれる理論についても御説明いただきました。最後には、着実に長続きさせるためのサイクルでの最大のポイントは『自分たちが楽しむ』ことだともおっしゃっています。

## 2. 演習：「公民館を地方創生の舞台に」

講義の導入で触れた「対談の小見出し」について、3つのグループに割当をして、グループ内で意見を述べ合いながら対談の内容を読み取る演習を行いました。

### 【演習の手順】

- ① 個々に文章を読む。
- ② 付箋に感想を書く。
  - ・(緑) … 共感でき、すぐできそう
  - ・(黄) … 共感できるが、すぐにはできない
  - ・(赤) … 納得できない
- ③ 文章のくだりごとに意見を述べる。
- ④ 同じくだりで意見が分かれませんか？ 意見が分かれたら ～ (青) なぜか？\*理由を書く。
- ⑤ どうしたらできそうか、どうしてもできないか 話し合う。
- ⑥ 発表して他のグループに伝え「共有」する。

「地域運営組織」・「自治公民館」・「条例公民館」・「交流の鏡効果」・「当事者」といった、普段は聞き慣れない言葉の定義に戸惑いもありながら、読み取った感想をお互いに話し合い、人口減少克服と地方創生について考えを深めました。

発表場面では、他のグループや平井先生からの質問に答えるなどして、全体共有を図ることができました。

### 《演習の様子》



## 3. 受講者の感想

- ・今回の研修に参加して、住民が自分たちの地域の良さを今一度見つめ直すきっかけを手助けしていただけたら、と思いました。
- ・ワークショップの進め方が、今まで参加した研修と違い良かった。一人一つずつの意見の出し方だと、みんなが話に入っていき活発な場となった。
- ・いろんな意見が聞けてよかったです。いろいろ考えさせられたり、「えっ？」と思うようなことがあったりで、びっくりでした。